

たんぽぽ通信

no.6

さまざまな認知症 パーキンソン病とは？

パーキンソン病は、脳神経系の中でもっとも患者数の多いものの一つといわれ、全国で10万人以上存在すると言われています。パーキンソン病は神経細胞が減ってドーパミンの産生が少なくなる為に、神経間の情報伝達がうまくいかなくなり、運動が下手になってしまいます。症状としては、振戦、固縮、無動、バランスの悪さがあります。ふるえと共に、四肢の筋肉が固くなり、筋肉が固くなるので関節の動きも円滑ではなくなり、無理に動かすと歯車のようなガクガクした動きになります。運動の速さは低下し運動量も減り、じっとしている傾向が目立つようになります。また、手足の振え(振戦)筋肉の強張り(固縮)動きが乏しくなる(無動)バランスが悪くなるという4つの症状がこの病気の特徴とされています。これらに従い、無症状、低い声、言葉の不明瞭さ、歩みにくさなどがでてくる事になります。こうした症状の多くは、まず手足の振えが50歳過ぎ頃から目立つようになり、ゆっくり進行するのが普通です。しかし、40歳前に発症する若年性パーキンソン病や、70歳を過ぎてから症状が現れることもあります。病気の進行も比較的早い場合もあれば、10年以上たってもあまり悪化しない場合もあります。パーキンソン病は治療の進歩が著しく、一般的には天寿をまっとう出来る病気とされています。

5月の行事予定

- ★ お花見
- ★ 温泉
- ★ 買い物ツアー

6月の行事予定

- ❁ バーベキュー
- ❁ 買い物ツアー
- ❁ ドライブ・遠足



防災訓練

平成22年3月13日午前2時25分頃、札幌市北区屯田のGHで入居者7名が死亡してしまうと言う大変痛ましい事故が起きてしまいました。私達、ゆめみのもこの話を受けて早急に3月15日(月)に夜間を想定した自主避難訓練を行いましたのでご報告いたします。参加入居者は1階は全員の9名で夜勤職員1名の想定で行い、1階入居者が安全に玄関、非常口まで誘導した時間が4分53秒となりました。避難訓練は定期的に行い、又地域の方にも参加して頂けるような働き掛けを今後は行っていこうと思っております。

22年度GHゆめみの1階・たんぽぽ

目標

- ① 入居者様の病状の把握につとめ早期発見を目指し、稼働率の低下を防ぐ。
- ② 人と人との関係を基本として入居者様の自尊心を高められるような声かけとケアを行う。
- ③ 家族様とのコミュニケーションと信頼関係の維持に努める。
- ④ グループホームゆめみのを地域の方に周知されるように努める。

3月7日



消防記念日
消防学校日

英生会グループホーム ゆめみの たんぽぽ1
TEL 011-391-3119
江別市ゆめみ野東町33-10
たんぽぽ1 広報担当 中野 野崎 富坂

